



# 東北大学災害科学国際研究所

第20回東北大学災害科学研究拠点セミナー  
第33回「災害と健康」学際研究推進セミナー

## 医療情報と災害医療のDX化について考える ～次世代型避難の在り方について～

医療ITの進展は、診療の効率化だけでなく医療安全面にも貢献してきた。東日本大震災以降は、診療データの遠隔地保存や地域間での情報共有が整備されてきた。近年、AI技術を使ったDTx（Digital Therapeutics）が臨床現場で利用されるなど、医療のデジタル化（Digitalization）が始まりつつある。こうしたAI技術が生み出すDX（Digital Transformation）化されたサービスを、平時から被災時にも使うことで「社会的課題」と「災害的課題」を同時解決するような概念でresilienceな社会を構築する動きもある。

本講演では、医療情報を整理しながら、情報システムの平時の在り方と障害対応と備えについて述べる。次に医療AIの現状をレビューしつつ、平時からの活用が災害時においてどう活用すべきかを考察する。また本研究室が取り組む診療会話からの構造化データへの変換、SNSやメールからの構造化データの作成、行政手続きと自らの医用情報（PHR:Personal Health Record）を連携したDXアプリ（災害向けPHR）を紹介しながら、次世代型の避難の在り方を考察する。



東北大学災害科学国際研究所  
災害医療情報学分野 准教授

**藤井 進 先生**

2019年より災害科学国際研究所  
災害医療情報学分野准教授。東北大学病院MITC兼務。日本医療情報学会所属（評議員・倫理個人情報委員会）。専門は（災害）医療情報学、医療経済。

2022年1月20日（木）  
16:00～17:30

WEB開催  
(ZOOM)

本セミナーは医学系研究科系統講義コース科目の授業として振替可能です

お申し込み・お問い合わせ

東北大学災害科学国際研究所  
「災害と健康」プロジェクトユニット  
<http://www.irides-pudh.med.tohoku.ac.jp>

